



学校だより No.6

日々新たに

尼崎市立日新中学校

平成30年9月27日発行

尼崎市の環境への取組について

生徒朝礼で、「尼崎市が『環境モデル都市』であることを知っていますか？」と聞いたところ、知っていた生徒は残念ながら少数でした。「環境モデル都市」は、国が、温室効果ガスの大幅な削減など、二酸化炭素の排出が少ない社会を目指し取り組んでいると認定した都市で、全国で認められたのは23都市だけです。尼崎市は平成25年に認定され、2030年までに、温室効果ガス排出量を1990年比で30%削減する目標を立てています。けれども、尼崎市が「環境モデル都市」であることや、どのような環境政策を行っているかについては、まだ十分認識されてはいないようです。

尼崎市は、昨年「尼崎市自転車まちづくり推進条例」を施行し、自転車が利用しやすいまちづくりを推進しています。これは、身近な交通手段である自転車を、安全に快適に利用できる環境を整備する施策ですが、その背景には、二酸化炭素を排出するガソリン車の利用を抑え、地球温暖化を防止する目的が含まれています。この他、市は二酸化炭素を排出しない電気自動車等の普及に努め、市役所に5台の電気自動車と1台の水素自動車を配備し、市役所駐車場に「電気自動車用急速充電器」を設置しています。

次に、市はごみの減量とリサイクルに取り組んでいます。ごみを焼却すると二酸化炭素が発生するので、ごみを減らすことが地球温暖化防止につながります。さらに、ごみを減らすことで、ごみの元の製品を作ったり、運んだりするのに必要な石油などの資源・エネルギーを節約することもできます。市はレジ袋を使わず持参したバッグを使用する「マイバッグ運動」を推進していますが、もし、全てマイバッグで買い物をすれば、市全体のレジ袋の年間使用量、約1,000トン（約1億3,500万枚分）を減量できます。また、市民1人が1枚のレジ袋を削減するだけで、それを生産するのに必要な石油を、年間1.5ℓのペットボトルで約5,500本分節約することができると言われていました。

また環境面では、市内全域で植物を増やす「緑化」を推進しています。その中には、壁面緑化や屋上緑化等も含まれています。植物は光合成をするときに「二酸化炭素」を吸収してくれます。また、建物の屋上や壁を緑化すると、直射日光をさえぎり建物の温度を下げ、省エネにつながります。さらに、植物の働きで水分が蒸発するとき、熱をうばい取ってくれるので、人間活動により都市部の気温が周囲より高くなる「ヒートアイランド現象」を防いでくれます。

その他、市は「再生可能エネルギー」特に「太陽光発電」の導入に力を入れています。「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、水力、地熱など自然界に存在する資源を活用するもので、資源が無くならず繰り返し使え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しません。現在、市内の小中学校25校をはじめ、48の公共施設に「太陽光発電設備」が導入されています。また、平成26年に、「エコひょうご尼崎発電所」と呼ばれる大規模な太陽光発電所が作られ、この発電所だけで、一般家庭約3,000世帯分の消費電力量をまかなえ、年間約5,600トンの二酸化炭素の削減効果をもたらすと言われていました。

生徒達には、自分たちの暮らす尼崎市が行っているこうした「地球温暖化対策」など環境への取組のことをもっと知ってもらいたいと思います。そして、私たち大人も含めて、その実現に向けて自分にできることを、何か一つ実践していかなければならないと感じました。

非行化防止標語の表彰



8月27日、青少年健全育成・非行化防止標語表彰式が立花地区会館で行われました。本校からは、入選の3年2組 高木結莉さんと3年4組 脇夏輝さんが参加しました。

- ★3-2 高木結莉さんの作品 (入選)
『「ただいま」と その声待っている 人がいる』
- ★3-4 脇夏輝さんの作品 (入選)
『 思いやり 人の心に 花咲かす 』
- ★3-3 和田咲千夏さんの作品 (佳作)
『 あいさつの 言葉で広がる みんなの輪 』
- ★1-1 河野美音さんの作品 (佳作)
『 あなたの声 きっと誰かを 止められる 』



たそがれコンサート

8月31日、本校運動場で日新中学校区健全育成協議会主催の「たそがれコンサート」を開催しました。夕刻、涼しげな風が吹く中、150名を超える保護者・地域住民の皆さまに、吹奏楽部の演奏をお聴きいただきました。

背中に「NiSSHIN School Band」と書かれた水色のポロシャツ姿の部員が、「ルパン三世メドレー」や中島みゆきの「糸」、ゴダイゴの「銀河鉄道999」等8曲を演奏しました。

運動場に流れる爽やかな調べが、集まった人々の心に響き、心を繋ぐコンサートになりました。



10月の主な予定



月	火	水	木	金	土	日
1 中間テスト (総, 社, 英, 国)	2 中間テスト (総, 理, 数) 情報モラル講座(4h)	3 朝学なし 45分×4 (道, 水234) 市内全体教科研究会 パン弁当販売なし	4	5 英語検定(放課後)	6	7
8 《 体育の日 》 尼崎市民まつり	9 生徒会専門委員会 掃除なし	10 5校時まで	11	12 2年手話体験事前 指導(6h)	13	14
15 朝学あり 50分×6 6h 合唱 (月62345, 総) 合唱コン練習期間	16 朝学なし 45分×6 +50分(合唱)	17 朝学あり 50分×6 6h 合唱	18 朝学なし 45分×6 +50分(合唱) (木15346, 金4, 合) 合唱コンリハーサル	19 朝学あり 50分×6 6h 合唱 (金123, 木2, 金5, 総) 漢字検定(放課後)	20 市立中学校総合体育 大会 ペイコム陸上競技場	21
22 オープスクール 朝学あり 50分×6 (月62345, 総)6h 合唱 ★創立記念日	23 オープスクール 朝学なし 45分×6 +50分(合唱)	24 オープスクール 道徳公開授業(50分) 2h~45分, 4h 合唱 文活準備(PM)	25 オープスクール 朝学なし 45分×6 学年合唱コンクール 展示見学	26 オープスクール 文化活動発表会 合唱コンクール本選	27	28
29 生徒朝礼 芸術鑑賞(5,6h)	30 中高合同音楽会	31 2,3年福祉体験(5,6h) 補充木1				

< 11月の主な予定 > 11/1(木) : 進路説明会 11/2(金) : 3年市学力調査 11/3(土) : きょうちくとう運動会
11/5(月) : 特別支援学級代休日 11/9(金) : 2年マナー講座 11/12(月) : トライやる事前訪問
11/19(月)~21(水) : 期末テスト 11/22(木) : トライやる出発式 11/26(月)~11/30(金) : トライやるウィーク

☆ 頑張る日新中生 ! ☆



- 第72回尼崎市中学校総合体育大会
- 第72回尼崎市中学校陸上競技大会

共通男子 110mH	第3位	2-3	石沢 侑雅
共通男子走幅跳	第2位	3-1	江藤 怜真
共通男子三段跳び	第2位	3-1	江藤 怜真
共通男子三段跳び	第3位	2-3	大川 涼輔
2年生女子 100m	第1位	2-4	山本 和華
共通女子 100mH	第2位	3-4	林 愛梨
共通女子円盤投げ	第3位	3-5	田中 小夏

- 第42回全国学生書写書道展

優秀特選 3-5 阪本 佳奈

特選 3-1	山本 弥希	特選 3-5	小坂田 夏希
特選 2-1	久保 尋斗	金賞 3-2	川口 瑞稀
金賞 2-2	川合 こはる	金賞 1-4	新谷 駆琉
銀賞 3-3	谷内 花菜	銀賞 2-1	川下 元気
銀賞 2-4	中元 歩希	銅賞 1-1	大田本 果純
銅賞 1-3	立切 晴喜	銅賞 1-3	松下 大地

職員研修 (心肺蘇生法)

8月30日、尼崎総合医療センターの医師、救命士、尼崎市消防局の救命士、北消防署の職員の方々のご指導の下、教職員対象の心肺蘇生法の実践研修を実施しました。



昨年、市内中学校で、体育の授業中に意識を失った生徒にAEDを使用して一命を取り留めるといった事故がありました。このように、学校現場では、緊急時に早期に適切な救命措置が行えることが求められています。

研修では、実際に事故が起こった複数のケースを想定して、役割分担をしながら、胸骨圧迫の方法やAEDの使用法、119番通報、救急車の誘導など、緊張感を持った実践さながらの訓練を行いました。

◎ 全国学力・学習状況調査結果について ◎

4月に3年生で実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が出ましたのでお知らせします。

今回の結果において課題の見られた点については、校内の研究推進部を中心に各教科において、生徒の学力向上に向けての授業改善や学力補充等に取り組んでまいります。具体的には、市の「アクティブ・ラーニング推進事業」を活用し、研修・研究を推進し、職員の実践的指導力の向上に努めるとともに、「学力定着支援事業」を活用して「チャレンジ学習」等の放課後学習の指導に力を入れていきたいと考えています。また、1, 2年生の朝読書の取り組みや図書室の開放時間の拡大等を推進し、図書館教育の充実と読書習慣の確立に努めてまいります。

家庭においても、予習・復習等の家庭学習習慣が定着するように、また、地域に関心を持ち地域行事へ積極的に参加できるように、お子様への働きかけをお願いします。

《 調査結果 》

(1) 平均正答率（全国との比較）

- | | | | | | |
|----------|-----|-----|----------|-----|-----|
| ・国語A（知識） | ・・・ | －2% | ・国語B（活用） | ・・・ | －2% |
| ・数学A（知識） | ・・・ | －4% | ・数学B（活用） | ・・・ | －6% |
| ・理科 | ・・・ | －3% | | | |

(2) 経年比較

- ・国語について、A（知識）、B（活用）共に、昨年度より全国平均に近づいている。
- ・数学について、A（知識）、B（活用）共に、全国平均を下回っており、A（知識）は、その差が広がる傾向にある。
- ・理科について、前回調査（3年前）に比べ低い。

(3) 問題別調査結果

- ・国語A（知識）について、「書くこと」の領域、「書く能力」の観点等で課題が見られる。
- ・国語B（活用）について、「読むこと」の領域、「読む能力」の観点等で課題が見られる。
- ・数学A（知識）について、「数と式」「図形」の領域、「数量や図形などについての知識・理解」の観点等で課題が見られる。
- ・数学B（活用）について、「数と式」「関数」「資料の活用」の領域、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」の観点等で課題が見られる。
- ・理科について、「化学的領域」「生物的領域」の分野、「自然事象への関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」「自然事象についての知識・理解」の観点等で課題が見られる。

(4) 生徒質問紙の結果

- ・学習習慣について、予習・復習をしている生徒が少ない。
- ・読書習慣について、普段全く読書をしない生徒が多い。
- ・地域との関係について、授業の中で地域と関わる機会が少ない。また、地域行事にあまり参加できていない。
- ・数学の授業について、「理解できる」、「あきらめず考える」、「学習の有用性を感じる」等が低い。
- ・理科の授業について、「自分の考えを説明・発表できる」、「観察・実験の経験」、「予想をもとに実験・観察の計画を立てる」、「結果をもとに考察する」等が低い。
- ・1, 2年生の授業を振り返って、「主体的に課題解決に取り組む」、「発表の仕方を工夫する」等が低い。